



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年10月26日

上場取引所 東

上場会社名 富士通フロンテック株式会社
 コード番号 6945 URL <http://www.fujitsu.com/jp/frontech/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 下島 文明
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長 (氏名) 豊美 由喜夫
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月10日 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

TEL 042-377-2544
 平成28年11月28日

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	51,447	△7.6	2,911	44.2	2,109	13.1	1,496	16.4
28年3月期第2四半期	55,696	14.1	2,019	372.9	1,864	223.5	1,285	274.6

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 1,200百万円 (△7.1%) 28年3月期第2四半期 1,292百万円 (511.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	62.44	62.20
28年3月期第2四半期	53.67	53.50

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第2四半期	71,227	41,326	57.6	1,712.15
28年3月期	72,768	40,360	55.1	1,673.57

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 41,035百万円 28年3月期 40,111百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末		
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	9.00	—	11.00	20.00	
29年3月期	—	11.00	—	—	—	
29年3月期(予想)	—	—	—	11.00	22.00	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	112,500	△6.4	6,200	12.7	4,850	3.7	3,400	4.4	141.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期2Q	24,015,162 株	28年3月期	24,015,162 株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	48,276 株	28年3月期	47,714 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期2Q	23,967,178 株	28年3月期2Q	23,961,806 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)5ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1)連結経営成績に関する定性的情報	2
(2)連結財政状態に関する定性的情報	4
(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	5
4. 四半期連結財務諸表	6
(1)四半期連結貸借対照表	6
(2)四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
第2四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	9
第2四半期連結累計期間	9
(3)四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4)四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報等)	12
(5)重要な後発事象	12
5. 補足情報	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く経済環境は、中国などの新興国経済の減速感や急激な為替の変動など、先行き不透明感を強めながら推移いたしました。

このような状況のもと、営業店端末が大口径更新需要により伸長し、米国流通市場向けメカコンポーネントビジネスが好調に推移いたしました。国内・アジア向けPOSの商流変更による減収に加え、為替影響や中国市場向けメカコンポーネントの一部延伸などにより、連結売上高は51,447百万円（前年同期比7.6%減、4,249百万円の減）となりました。

連結営業損益につきましては、為替影響に加え一部売上高の延伸等があったものの、売上構成の変化や費用の効率化努力等により、2,911百万円の利益（前年同期比44.2%増、892百万円の増）となりました。連結経常損益につきましては、営業利益の増加を主因に2,109百万円の利益（前年同期比13.1%増、244百万円の増）、親会社株主に帰属する四半期純損益につきましては、1,496百万円の利益（前年同期比16.4%増、210百万円の増）となりました。

① 当第2四半期連結累計期間の概況

(単位：百万円)

	2015年度 第2四半期連結累計期間 〔2015年4月1日～ 2015年9月30日〕		2016年度 第2四半期連結累計期間 〔2016年4月1日～ 2016年9月30日〕		前年同期比	
	売上高比(%)	売上高比(%)	売上高比(%)	増減率(%)		
売上高	55,696	100.0	51,447	100.0	△4,249	△7.6
国内	38,926	69.9	39,189	76.2	262	0.7
海外	16,770	30.1	12,257	23.8	△4,512	△26.9
営業損益	2,019	3.6	2,911	5.7	892	44.2
経常損益	1,864	3.3	2,109	4.1	244	13.1
親会社株主に帰属する 四半期純損益	1,285	2.3	1,496	2.9	210	16.4

2016年度第2四半期累計期間の平均為替レート：105.35円/米ドル、15.95円/中国元
2015年度第2四半期累計期間の平均為替レート：121.81円/米ドル、19.44円/中国元

② セグメント別の概況

当第2四半期連結累計期間における各セグメント別の概況は以下のとおりです。

<セグメントの変更について>

2016年5月1日付の組織変更に伴い、第1四半期よりセグメント区分を変更しております。詳細につきましてはp.12「セグメント情報等」をご参照ください。なお、前年度分について当連結累計期間と比較可能となるよう組替え表示を行っております。

<グローバルプロダクトビジネス>

(単位：百万円)

	2015年度	2016年度	前年同期比	
	第2四半期累計	第2四半期累計	増減率(%)	
売上高	27,513	23,741	△3,771	△13.7
営業損益	1,269	886	△383	

グローバルプロダクトビジネスにつきましては、国内では営業店端末が大口径更新需要により伸長いたしました。A T Mの大口径更新需要のピークが前年であったことなどから減少いたしました。海外ではメカコンポーネントビジネスが米国流通市場向けに好調に推移したものの、為替影響や中国市場向けの一部延伸などにより減少いたしました。以上により、連結売上高は 23,741 百万円（前年同期比 13.7%減、3,771 百万円の減）となりました。

損益につきましては、上記の減収要因や為替影響などにより、連結営業利益 886 百万円と前年同期比では 383 百万円の減少となりました。

＜サービスインテグレーションビジネス＞

(単位：百万円)

	2015年度 第2四半期累計	2016年度 第2四半期累計	前年同期比	
				増減率(%)
売上高	14,313	14,789	475	3.3
営業損益	2,032	1,838	△193	

サービスインテグレーションビジネスにつきましては、ソリューション関係ではA T Mの大口径更新需要の一巡により、A T M用ソフトウェアパッケージなどが減少いたしました。一方、サービス関係ではキックティングサービスなどのL C Mサービスが伸長したことや、店舗向けA T Mサービスが堅調に推移いたしました。以上により、連結売上高は 14,789 百万円（前年同期比 3.3%増、475 百万円の増）となりました。

損益につきましては、A T M用ソフトウェアパッケージの減少等により、連結営業利益は 1,838 百万円と前年同期比では 193 百万円の減少となりました。

＜パブリックソリューションビジネス＞

(単位：百万円)

	2015年度 第2四半期累計	2016年度 第2四半期累計	前年同期比	
				増減率(%)
売上高	8,017	8,497	479	6.0
営業損益	189	997	808	

パブリックソリューションビジネスにつきましては、トータリゼータ関連装置の所要が前進したことに加え、中古車市場向けせりシステムが伸長したことなどにより、連結売上高は 8,497 百万円（前年同期比 6.0%増、479 百万円の増）となりました。

損益につきましては、増収および売上構成の変化ならびに徹底したコストダウンの推進などにより、連結営業利益は 997 百万円と前年同期比では 808 百万円の増加となりました。

＜フロントソリューションビジネス＞

(単位：百万円)

	2015年度 第2四半期累計	2016年度 第2四半期累計	前年同期比	
				増減率(%)
売上高	5,797	4,367	△1,430	△24.7
営業損益	△818	△105	712	

フロントソリューションビジネスにつきましては、R F I Dが国内外で、手のひら静脈認証システムが地方自治体向けを中心に、それぞれ増加いたしました。一方、前年度に実施した国内・アジア向けP O Sの商流変更による減収影響もあり、連結売上高は 4,367 百万円（前年同期比 24.7%減、1,430 百万円の減）となりました。

損益につきましては、P O Sシステムを中心とした構造改革効果などにより連結営業損失は 105 百万円と前年同期比では 712 百万円改善いたしました。

<その他>

その他ビジネスには、福利厚生事業などが含まれており、連結売上高 51 百万円（前年同期比 6.2%減、3 百万円の減）、連結営業利益 13 百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産・負債・純資産の状況

(単位：百万円)

	2015年度 連結会計年度末 (2016年3月31日)	2016年度 第2四半期連結会計期間末 (2016年9月30日)	増 減	
	金 額	金 額	金 額	増減率(%)
資産合計	72,768	71,227	△1,540	△2.1
負債合計	32,407	29,900	△2,506	△7.7
純資産合計	40,360	41,326	965	2.4
自己資本比率	55.1%	57.6%	2.5	

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は71,227百万円と、前年度末から1,540百万円減少いたしました。前年度末に集中した売上に係る売掛金を回収したことにより減少いたしました。

負債合計は29,900百万円と、前年度末から2,506百万円減少いたしました。

純資産合計は41,326百万円と、前年度末から965百万円増加いたしました。その結果、自己資本比率は57.6%と、前年度末から2.5ポイント増加いたしました。

② キャッシュ・フローの状況

(単位：百万円)

	2015年度 第2四半期連結累計期間 (2015年4月1日～ 2015年9月30日)	2016年度 第2四半期連結累計期間 (2016年4月1日～ 2016年9月30日)	前年同期比
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー	4,903	3,858	△1,045
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,294	△1,589	△294
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,244	△845	1,399
IV. 現金及び現金同等物の四半期末残高	9,493	12,204	2,711

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、前年度末の売掛金を回収したことにより、3,858百万円となりました。前年同期比では、1,045百万円の収入減となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、△1,589百万円と、前年同期比では294百万円の支出増となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、△845百万円となりました。前年同期比では1,399百万円の支出減となりました。

この結果、現金及び現金同等物の期末残高は12,204百万円となりました。

(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の当社グループを取り巻く経営環境は、中国市場、欧州市場の先行き不透明感や急激な為替変動など予断を許さない状況が続くものと予想しております。このような状況の中で、新たな領域である米国流通市場向けメカコンポーネントビジネスの展開を進めるとともに、事業効率化活動を通じてコストダウンや費用の効率化を強力に推進してまいります。これらにより通期連結業績予想につきましては、前回予想から売上高を112,500百万円（前回公表比△1,000百万円）、営業利益は6,200百万円（同 +500百万円）にそれぞれ修正いたします。

なお、通期業績予想の前提となる第3四半期以降の為替レートは、1米ドル=100円を想定しております。

(単位：百万円)

	前回業績予想 (A)		今回発表 (B)		増減額 (B-A)	
	第2四半期累計	通期	第2四半期累計(実績)	通期	第2四半期累計	通期
売上高	52,600	113,500	51,447	112,500	△1,152	△1,000
営業利益	1,200	5,700	2,911	6,200	+1,711	+500
営業利益率(%)	(2.3%)	(5.0%)	(5.7%)	(5.5%)	(+3.4)	(+0.5)

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,582	3,887
預け金	6,313	8,347
受取手形及び売掛金	26,819	22,309
製品	6,564	8,703
仕掛品	4,698	4,061
原材料及び貯蔵品	3,478	3,960
繰延税金資産	1,454	1,440
未収入金	483	435
その他	714	816
貸倒引当金	△56	△25
流動資産合計	55,052	53,938
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,367	2,273
機械装置及び運搬具(純額)	431	470
工具、器具及び備品(純額)	6,995	6,250
土地	2,084	2,045
建設仮勘定	338	675
有形固定資産合計	12,217	11,715
無形固定資産		
のれん	525	444
ソフトウェア	1,868	2,129
その他	192	191
無形固定資産合計	2,585	2,764
投資その他の資産		
投資有価証券	792	555
繰延税金資産	1,423	1,341
デリバティブ債権	337	575
その他	392	368
貸倒引当金	△33	△33
投資その他の資産合計	2,912	2,808
固定資産合計	17,715	17,288
資産合計	72,768	71,227

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,484	15,531
リース債務	1,282	1,232
未払金	2,841	3,440
未払費用	3,054	2,594
未払法人税等	1,005	686
役員賞与引当金	51	7
その他	717	1,018
流動負債合計	26,437	24,513
固定負債		
長期未払費用	14	11
リース債務	3,237	2,703
役員退職慰労引当金	30	27
退職給付に係る負債	2,531	2,488
資産除去債務	155	156
固定負債合計	5,969	5,387
負債合計	32,407	29,900
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,457	8,457
資本剰余金	8,222	8,222
利益剰余金	24,894	26,127
自己株式	△60	△60
株主資本合計	41,514	42,747
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	261	98
繰延ヘッジ損益	△220	△56
為替換算調整勘定	78	△332
退職給付に係る調整累計額	△1,522	△1,421
その他の包括利益累計額合計	△1,403	△1,712
新株予約権	74	108
非支配株主持分	174	182
純資産合計	40,360	41,326
負債純資産合計	72,768	71,227

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	55,696	51,447
売上原価	44,978	40,214
売上総利益	10,718	11,232
販売費及び一般管理費	8,699	8,320
営業利益	2,019	2,911
営業外収益		
受取利息	15	11
受取配当金	3	3
雑収入	35	20
営業外収益合計	54	35
営業外費用		
支払利息	55	48
為替差損	0	748
固定資産除売却損	1	3
解約違約金	61	-
雑支出	89	37
営業外費用合計	208	838
経常利益	1,864	2,109
税金等調整前四半期純利益	1,864	2,109
法人税、住民税及び事業税	545	554
法人税等調整額	23	46
法人税等合計	569	600
四半期純利益	1,295	1,509
非支配株主に帰属する四半期純利益	9	12
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,285	1,496

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	1,295	1,509
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	117	△163
繰延ヘッジ損益	△110	164
為替換算調整勘定	△51	△411
退職給付に係る調整額	41	101
その他の包括利益合計	△3	△308
四半期包括利益	1,292	1,200
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,283	1,188
非支配株主に係る四半期包括利益	9	12

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,864	2,109
減価償却費	2,226	1,883
のれん償却額	80	80
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△67	105
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△13	△3
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△35	△43
貸倒引当金の増減額(△は減少)	88	△27
株式報酬費用	29	34
受取利息及び受取配当金	△19	△15
支払利息	55	48
為替差損益(△は益)	△14	68
固定資産除売却損益(△は益)	3	3
売上債権の増減額(△は増加)	6,089	3,997
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3,267	△2,404
未払費用の増減額(△は減少)	△27	△445
仕入債務の増減額(△は減少)	△935	△1,475
その他	55	1,051
小計	6,113	4,969
利息及び配当金の受取額	19	15
利息の支払額	△55	△48
法人税等の支払額	△1,172	△1,076
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,903	3,858
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△30	△30
有形固定資産の取得による支出	△1,172	△917
有形固定資産の売却による収入	668	25
無形固定資産の取得による支出	△755	△683
無形固定資産の売却による収入	0	0
貸付けによる支出	△31	△37
貸付金の回収による収入	37	39
その他投資活動による支出	△58	△1
その他投資活動による収入	45	17
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,294	△1,589

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,456	-
自己株式の処分による収入	0	-
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△215	△263
リース債務の返済による支出	△568	△576
非支配株主への配当金の支払額	△3	△5
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,244	△845
現金及び現金同等物に係る換算差額	△10	△114
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,352	1,308
現金及び現金同等物の期首残高	8,140	10,895
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,493	12,204

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日) (単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額
	グローバル プロダクト ビジネス	サービス インテグレーション ビジネス	パブリック ソリューション ビジネス	フロント ソリューション ビジネス				
売上高	23,741	14,789	8,497	4,367	51	51,447	-	51,447
営業利益又は 営業損失(Δ)	886	1,838	997	△105	13	3,630	△718	2,911

(注1) 「その他」の区分は報告セグメントに帰属しない事業セグメントであり、従業員向け福利厚生事業等を含んでおります。

(注2) 営業利益又は営業損失の調整額△718百万円は、各報告セグメントに配賦されていない全社費用△718百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない基礎的研究等の戦略費用及び親会社のグループ経営管理・サポート機能に係る費用等であります。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は、海外ビジネスの領域拡大、国内ビジネスの変革、フロントテクノロジーの強化・成長、事業効率化の更なる推進を図るため、平成28年5月1日付で組織体制を変更いたしました。

これに伴い、報告セグメントを従来の「金融ビジネス」、「流通ビジネス」、「産業・公共ビジネス」、「サービスビジネス」から、「グローバルプロダクトビジネス」、「サービスインテグレーションビジネス」、「パブリックソリューションビジネス」、「フロントソリューションビジネス」に変更しております。

(5) 重要な後発事象

該当事項はありません。

5. 補足情報

平成29年3月期(連結)

(単位:百万円)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
	28年4月～28年6月	28年7月～28年9月	28年10月～28年12月	29年1月～29年3月
売上高	21,478	29,968		
売上総利益	3,956	7,276		
営業利益又は損失(△)	83	2,828		
経常利益又は損失(△)	△607	2,717		
税金等調整前四半期純利益 又は純損失(△)	△607	2,717		
親会社株主に帰属する四半期 純利益又は純損失(△)	△471	1,967		
1株当たり四半期純利益 又は純損失(△)	△19円66銭	82円10銭		

総資産	67,635	71,227		
純資産	39,316	41,326		
1株当たり純資産	1,629円95銭	1,712円15銭		
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,171	△1,312		
投資活動によるキャッシュ・フロー	△522	△1,067		
財務活動によるキャッシュ・フロー	△557	△288		
現金及び現金同等物期末残高	14,895	12,204		

平成28年3月期(連結)

(単位:百万円)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
	27年4月～27年6月	27年7月～27年9月	27年10月～27年12月	28年1月～28年3月
売上高	24,240	31,456	28,960	35,492
売上総利益	4,433	6,284	5,547	7,136
営業利益又は損失(△)	195	1,823	1,319	2,165
経常利益又は損失(△)	323	1,540	1,291	1,521
税金等調整前四半期純利益 又は純損失(△)	323	1,540	1,291	1,521
親会社株主に帰属する四半期 純利益又は純損失(△)	153	1,132	852	1,118
1株当たり四半期純利益 又は純損失(△)	6円43銭	47円23銭	35円57銭	46円68銭

総資産	68,125	71,091	68,839	72,768
純資産	38,276	39,387	40,009	40,360
1株当たり純資産	1,588円30銭	1,633円22銭	1,658円98銭	1,673円57銭
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,667	△764	912	2,266
投資活動によるキャッシュ・フロー	△823	△471	△342	△531
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,954	△290	△509	△292
現金及び現金同等物期末残高	11,054	9,493	9,537	10,895